

平成 26 年 11 月 11 日

静岡市長 田辺信宏 様

自由民主党静岡市議会議員団
会長 鈴木和彦

日頃、田辺市長をはじめ当局の皆様には、市政発展のためにご尽力いただき、心から敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

我が国の経済は、政府のアベノミクス効果によって、長期にわたる低成長から抜け出し、着実な回復基調にあるものの、地域経済においては、未だ景気の回復を実感するには至っておりません。

本市においても、いっそうの雇用拡大や所得の上昇を実現し、一人ひとりの市民が、「暮らしの充実」を実感できるよう、さらなる取組が求められています。

また、政令指定都市 20 市の中で最少となった本市の人口は、生産年齢人口減少による地域経済力の低下や、地域コミュニティの衰退など、今後、地域の社会経済環境に様々な変化をもたらすことが危惧されています。

そのような中、本市は、3,000m級の山々が連担する南アルプス・ユネスコエコパークから、最深部で 2,500mに達する駿河湾まで、幅広い気候帯に豊かな自然が広がり、世界遺産富士山を一望する名勝日本平と、その構成資産である三保の松原、徳川家康公の神廟を祀る国宝久能山東照宮など、世界水準の「歴史・自然文化」に恵まれています。

本市の発展には、こうした多彩な地域資源を連携、融合し、更に磨き上げて、新たな価値を創造していくことが重要となります。

また、本市は、温暖な気候、豊富な日照時間に恵まれ、静岡茶の名産地、日本一の緑茶消費量を誇るほか、就業率も高く、全国屈指の「健康長寿」の都市であります。そして、南海トラフ巨大地震をはじめ、様々な危機から市民を守る安全・安心の確保を第一に、市民、企業、団体などとの連携、協働のもと、住む人誰もが誇りを持てる都市を目指して、暮らしの充実に取り組んでいくことが重要となります。

そこで、自民党静岡市議団は、第3次静岡市総合計画のスタートとなる、平成27年度当初予算を編成するにあたり、3次総に掲げる「世界に輝く静岡の実現」のため、「創造する力による都市の発展」と「つながる力による暮らしの充実」の2つの視点に基づき、田辺市長が、リーダーシップを発揮し、決断と実行を旨とされ、市民・職員の先頭に立って、下記の項目について、重点的に進められるよう要望いたします。

1 安心・安全なまちの実現

- ① 南海トラフ巨大地震や大型台風等に対する防災・減災対策の推進
- ② 子ども・子育て支援や教育環境の充実など支援策の推進

2 活力あふれるまちの実現

- ① 世界文化遺産「三保松原」や「南アルプスユネスコエコパーク」、「徳川家康公」など、豊富な地域資源を活用した戦略的な観光・交通施策の推進
- ② 戦略産業の育成・集積や農林水産業の活性化など、地域産業の競争力強化の推進

3 暮らし豊かなまちの実現

- ① 官民連携の賑わい創出による静岡・清水地区中心市街地の活性化策の推進
- ② 豊かな自然に育まれた、多様な文化に富んだ中山間地域（オクシズ）や、駿河湾沿岸地域（しずまえ）活性化策の推進

以下、具体的に各項目を列挙します。

【要望事項】

地域活性化事業推進本部

- ・ 市民目線に立った地域活性化事業の着実な推進
- ・ 家康公顕彰四百年記念事業の推進
- ・ 日本平・久能山・三保の魅力を活かした事業の推進
- ・ 中山間地域（オクシズ）における活性化の推進

総務局

- ・ 的確な行財政改革の推進
- ・ 社会ニーズに応える人材育成や適正な職員配置など、3次総の着実な推進に対応する組織体制の整備
- ・ 津波避難タワーの早期整備など地震・津波対策のさらなる充実・強化

企画局

- ・ 官民連携による第3次総合計画の着実な推進
- ・ 官民連携による地域活性化策の推進
- ・ 公共資産の有効活用にかかるマネジメントの推進
- ・ リニア建設主体に対する南アルプスの自然環境と地域の生活環境の保全の申し入れ
- ・ 人口減少に対する総合的な対策の推進

財政局

- ・ 施策の市民ニーズや重要度、投資効果などを勘案した予算の配分
- ・ 収納対策や未利用市有地の積極的活用・処分など歳入増加策の強化
- ・ ふるさと納税やネーミングライツの活用など新たな財源確保策の推進

生活文化局

- ・ 世界文化遺産「富士山」の構成資産「三保松原」の保全と活用の両立
- ・ 2020年東京五輪開催に伴う、静岡県との連携による合宿などの誘致推進及び静岡アリーナの建設促進
- ・ 国宝久能山東照宮をはじめとする国指定史跡整備事業の推進

環境局

- ・ JR 東海のリニア中央新幹線整備にあたり自然と調和した開発整備の指導・促進
- ・ ユネスコエコパークを活用した地域活性化策の推進
- ・ 太陽光や風力など地域の特色を活かした再生可能エネルギー利用の推進
- ・ 「静岡版もったいない運動」などの4R推進活動のさらなる強化
- ・ 官民連携による「水素」を活用したまちづくりの推進

保健福祉局

- ・超高齢社会に対応した地域包括システムの構築
- ・高齢者保健福祉計画に基づく施設整備の着実な推進
- ・障害者に対する医療費や移動支援にかかる助成など、社会的弱者への支援の促進
- ・医師・看護師不足の解消、2次救急医療機関への支援
- ・桜ヶ丘病院の移転建設などによる地域医療体制の充実

子ども未来局

- ・子ども子育て関連3法・子ども子育て支援新制度への確実な対応
- ・待機児童ゼロを目指した施策の推進など、子育て支援策の更なる充実
- ・児童相談所の体制強化や児童養護施設への支援拡充など、児童・生徒の自立教育の促進
- ・不妊治療助成にかかる制度の充実
- ・子どもの貧困対策の推進
- ・ひきこもり支援対策の推進

病院局

- ・医師・看護師の確保や機器の更新など病院機能充実策の推進
- ・財務改善活動の強化と人材育成など病院経営改善策の推進
- ・公的病院や医師会との連携強化と夜間輪番制の堅持

経済局

- ・企業誘致、留置の推進や地域企業への支援等による、人口増加に向けた雇用・就労の場の創出の推進
- ・国際会議や大規模イベントの誘致などの **MICE** の推進
- ・世界文化遺産「富士山」の構成資産「三保松原」や、「徳川家康公」など豊富な地域資源を活用したシティプロモーションとイベントの推進
- ・大道芸ワールドカップ in 静岡など既存の資源を核としたインバウンド政策の推進
- ・ハローワークデータの活用など、国と連携した女性・若者の雇用促進策の推進
- ・清水港ビジョンの具現化、県との連携によるウォーターフロント利活用の推進
- ・茶どころ日本一計画の着実な推進などによる「お茶のまち静岡市」の実現
- ・有害鳥獣被害対策、農道整備予算の拡充、都市農業支援事業の継続など、頑張る農家支援策の推進
- ・茂畑、矢部などの畑総事業の着実な推進と創設非農用地の活用、耕作放棄地の有効活用など農業振興策の推進
- ・スポーツツーリズムの振興、市産材の活用など、各地区の特色や新東名 SA・IC を活かした中山間地振興策の推進
- ・ものづくり条例に基づく、地場産業のさらなる支援策の推進

都市局

- ・自転車を活かした「まちづくり」の推進
- ・清水港ウォーターフロントの都市的土地利用の推進
- ・JR 各駅のバリアフリー化と周辺整備事業の推進
- ・多様化する公共交通機関の整備及び見直し
- ・緊急性の高い民間施設の耐震補強への積極的な補助
- ・歩いて楽しいまちづくりなど中心市街地活性化策の推進
- ・大谷小鹿地区への東名新 IC 設置と周辺地域の有効活用方策の検討・推進
- ・日本平公園の整備などによる有度山の魅力向上
- ・サグラダファミリア方式による駿府城天守閣、天守台整備の推進

建設局

- ・東名や新東名と清水港を結ぶ国際物流基幹ネットワークの整備推進
- ・新東名や中部横断自動車道アクセス道路、静清バイパスの4車線化及び平面区間の立体化事業の推進
- ・郊外から市街地へのボトルネック箇所の解消や道路情報サービスの充実
- ・歩道の設置及び歩行空間のバリアフリー化や自転車走行空間の確保
- ・橋りょうの耐震補強及び長寿命化
- ・ゲリラ豪雨などに対応する自然災害防除、土砂崩れ対策のさらなる充実
- ・麻機遊水地「第2工区」の整備促進

消防局

- ・消防署、消防車両、消防水利の整備など、消防力充実策の推進
- ・自主防災組織の活動支援、消防団員減少対策や方面隊本部への AED 配付、住宅用火災警報器の設置促進など、地域防災力強化策の推進

上下水道局

- ・水道老朽管の布設替、災害時や施設故障時の対応策の推進など水道事業の継続性の確保
- ・下水道事業認可区域の拡大や事業認可区域内の下水道管への切替え促進など快適な生活環境の確保
- ・安定的な水運用と、七間町のにぎわい創出に資する上下水道局舎の建設促進

教育委員会

- ・児童・生徒の学力向上に向けた様々な取組の推進
- ・静岡版道徳教育、しずおか教師塾や静岡の歴史と伝統を学ぶ授業など、静岡市独自の教育の推進
- ・スクールカウンセリングの充実などによるいじめ対策の強化
- ・特別支援教育の推進と複式学級における臨時教員のさらなる増員と処遇改善
- ・私立幼稚園就園奨励費補助金や私立学校振興補助金などの確保
- ・部活動、総合学習、学校応援団などへの地域住民・団体の参画と連携強化
- ・小中一貫教育の導入検討と、さらなる教育力の向上の推進